

# 脱炭素社会への貢献

～グリーンイノベーション下水道の推進～

地球温暖化による気候変動対策として、脱炭素社会の実現が喫緊の課題となっています。

令和4年4月より都道府県、指定都市、中核市等は「地方公共団体実行計画(区域施策編)」を策定することが義務付けられました。下水道分野においても温室効果ガスの削減に取り組み、地域の脱炭素社会の実現に貢献していく必要があります。

## 我が国の削減目標

- 2030年度  
→46%削減(2013年度比)
- 2050年度まで  
→排出実質ゼロ

## 下水道分野 削減目標

■2030年度 → 208万t-CO<sub>2</sub>削減(2013年度比)

### 温室効果ガス削減

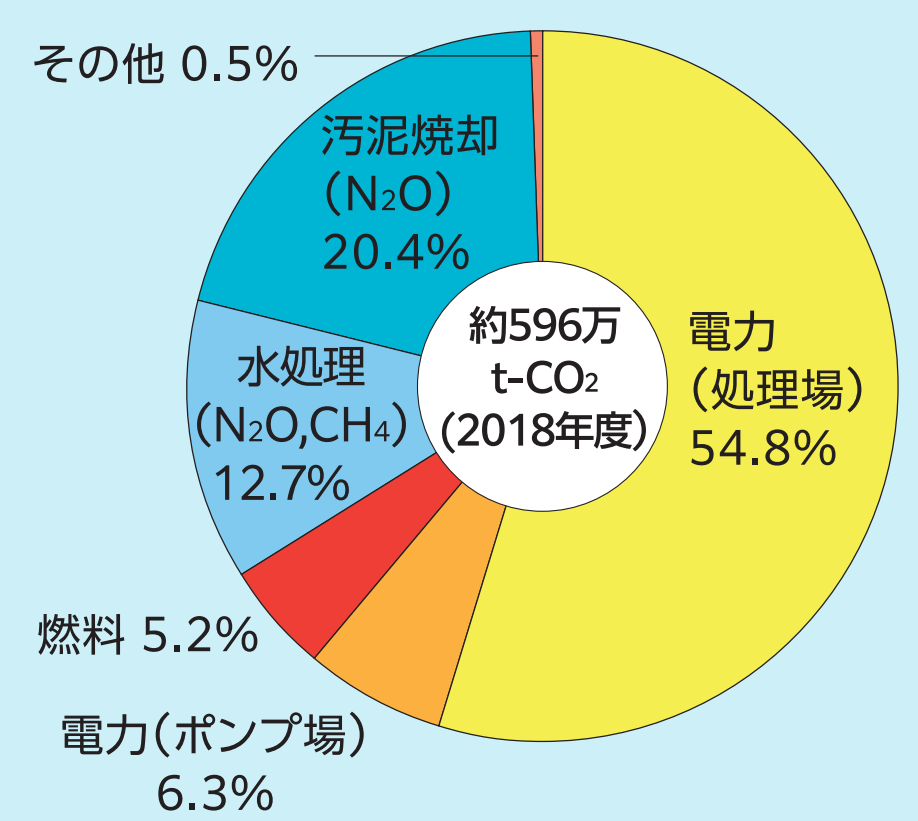
- 〈省エネの促進〉
  - 年率2%の削減
- 〈焼却の高度化〉
  - 高温焼却率 73%(2019年度)  
→100%(2030年度)
  - 新型炉への更新

### ポテンシャルの活用

- 〈下水汚泥のエネルギー化(創エネ)〉
  - メタン発酵、固形燃料化技術などの導入促進
  - エネルギー化率 24%(2019年度)  
→37%(2030年度)
- 〈再エネ利用の拡大〉
  - 太陽光、小水力、風力、下水熱などの導入促進

■2050年度まで → 排出実質ゼロ

## 下水道分野 温室効果ガス排出量



出典: 脱炭素社会への貢献のあり方検討小委員会(国交省、下水道協会)

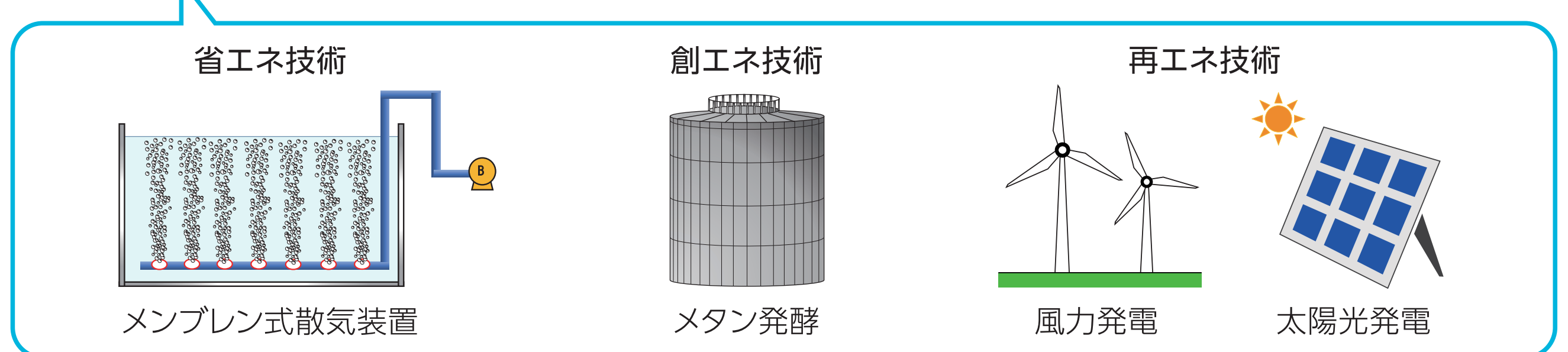
## 日水コンの取組内容

### 導入可能性調査・計画策定

下水道分野の省・創・再エネ化に関する導入可能性調査を実施し、下水道温暖化対策推進計画を策定します。

- 1 基礎調査
- 2 現状分析
- 3 対策抽出
- 4 導入可能性調査
- 5 優先順位の検討
- 6 計画策定

- 地域の実情・特性を踏まえた最適な計画を提案します。
- 個別機器ごとの効率化だけでなく、下水道システムを一体として捉えた脱炭素化を提案します。



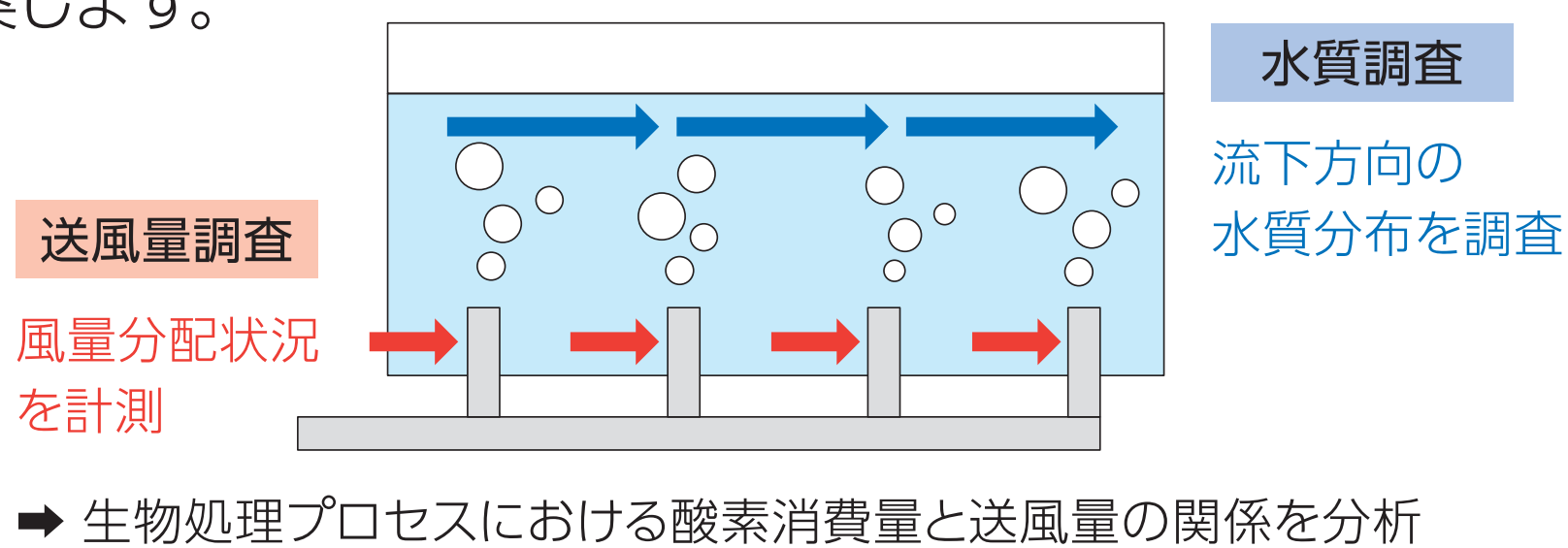
### 実態調査

実施設を対象に実態調査を行い、適切な対策の実施へつなげます。

#### 送風配分適正化の検討

下水処理場におけるエネルギー消費のうち、送風機電力が2～3割を占めています。

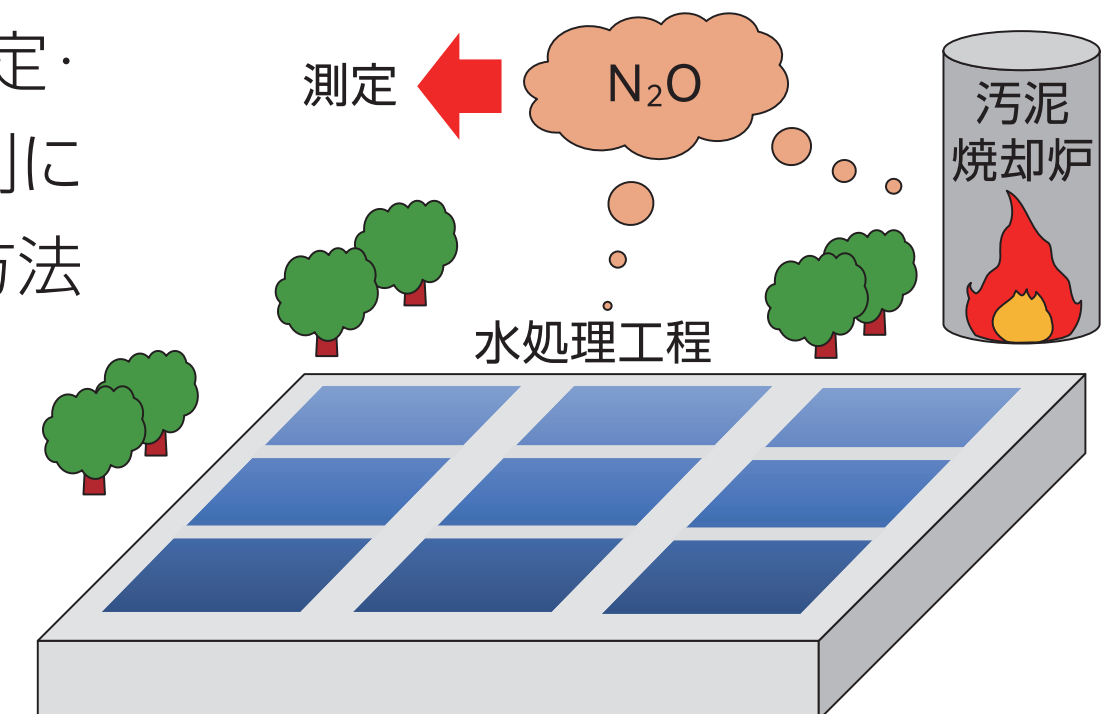
- 水処理施設の消費電力削減を目指し、送風配分の適正化について提案します。



#### N<sub>2</sub>O生成抑制調査

一酸化二窒素(N<sub>2</sub>O)は汚泥焼却や水処理工程で発生し、地球温暖化係数はCO<sub>2</sub>の298倍となっています。

- 各施設のN<sub>2</sub>O排出量の測定・分析を行い、N<sub>2</sub>O生成抑制につながる最適な運転制御方法を提案します。



脱炭素化のことなら  
私達にお任せを!